



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 清水港 新興津岸壁の延伸

(2021~)

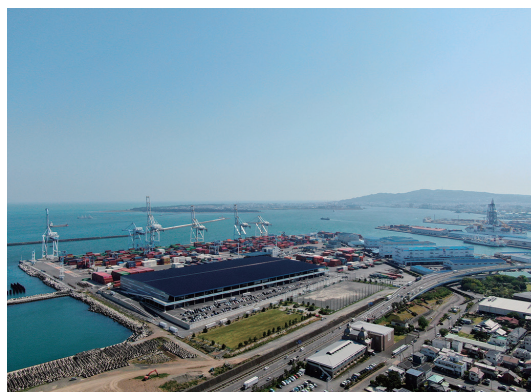


清水港新興津地区では、自動車部品・産業機械・電気機器等のコンテナ貨物や、製紙原料となる紙パルプ貨物の取り扱いが増加し、寄港する船舶の大型化も進む中、岸壁の混雑や延長不足により、船舶の沖待ちや他地区での荷役などの非効率な輸送が生じています。

こうした課題に対応し、必要な岸壁延長を確保するため、2021年(令和3年)から、新興津コンテナターミナルの岸壁延伸工事を実施します。

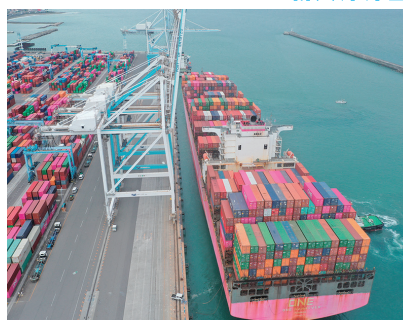
これにより、清水港背後に立地する自動車産業、製紙産業等の競争力を強化し、地域経済の活性化を図ります。

- 主要施設 / 岸壁(水深15m、耐震構造) 延伸200m
泊地(水深15m)
- 構造形式 / 重力式岸壁(検討中)
- 事業期間 / 2021年(令和3年)~ (2025年度(令和7年度)完成予定)



清水港 新興津コンテナターミナル (2021年4月)

新興津岸壁の利用状況



新興津岸壁に着岸するコンテナ船
(2021年5月)



輸入紙パルプの荷揚げ
(2021年6月)

現在生じている課題



コンテナ荷役とパルプ荷役の輻輳



岸壁の混雑による船舶の沖待ち

岸壁延伸により期待される効果



岸壁の混雑解消、
大型船の3隻同時着岸が可能に

新興津岸壁延伸事業の概要